

相撲専門分科会 平成 30 年度活動報告（例会）

特別支援学校での相撲指導 パラリンピック種目化： 障がい者武道（他種目）の動向

松井完太郎（国際武道大学）

日本武道学会障がい者武道専門分科会で、障がい者による武道研鑽を研究して参りました。「特別支援学校での相撲指導 パラリンピック種目化：障がい者武道（他種目）の動向」とお題をいただきました。相撲が他武道に比べて遅れているかということ NO です。相当有利な位置にあると思います。国民に一番試合が見られている武道は、年間 7 回の場所を 2 週間にわたって NHK で中継放送される相撲です。特別な用具もほぼいらず、通常の体操着で授業もできる。基本的な柔道・剣道・相撲の中で、一番優位にあります。部外者である私もワクワクするぐらいです。厚かましいですが、本日は勉強会ではなく、戦略・戦術会議のつもりでお話いたします。

<障がい者に指導をしたことがないのですが・・・>

私がスウェーデンの障がい者武道指導者に最初に習ったことは「本人に聞け」ということでした。たとえば脳性麻痺と聞いて「指導したことあるから大丈夫」と思ったら、「自分は経験を積んで、駄目な指導者になった」と気づかなければなりません。本人を見ずに障害名だけで判断しているからです。毎回、世界で初めて、世界で唯一の事例に対して、本人（家族）と対話しながら指導法を構築していく、勇気と謙虚さを持ってスタートすべきです。

<なぜ障がい者に相撲を指導するのか>

特別支援学校の現場では法律の規定、学習指導要領の改定が理由となるでしょう。しかし、相撲の普及を目指す連盟としては、障がい者を支援すべきであるという視点だけでなく、実は障がい者と健常者が相互に学び豊かになるのだという視点が重要だと思います。

<障がい者は新しい指導法をもたらす。>

空手道の正拳突きは腕を回旋させながら突き、腕を回旋しながら引くという動きを左右交互に行います。知的障がい者にはなかなか難しい。しかし、これを合計 30 分以内の指導で知的障害がある生徒全員にマスターさせる特別支援学校の先生がいます。



その先生は、腕を前に出させ、一方の握り拳を上に向けさせ、あとは「反対！」と指示しながら交互に拳を上に向けさせます。生徒がノッてきたら動きを大きくして上半身を左右に振りながら同じ動きをさせます。結果として生徒達は「回旋」という指示を全く受けずに「反対」という指示だけで自然に正拳突きができるようになります。

これは知的障がい者用の指導法でしょうか。多分、健常者も含めた総ての初心者にも良い指導法です。相互に学び合い豊かになる好例だと考えます。障がい者相撲への取り組みは、相撲ファンの増加にとどまらない大きなメリットがあると私は思います。

<障がい者にできるのか？>

東京都立葛飾特別支援学校（知的障害を対象とした高等部単独校）では、保健体育授業で相撲授業を実施しています。投げ技なし、押し出しのみで実施、番付表も作っているそうです。他の武道で障害者指導に関してよく質問されるのが「試合はどうするのか」ということです。相撲の場合、視覚障害があった横綱（双葉山）、隻腕の力士（布施教諭）の例もあります。そういう事例で勇気づけられる人たちもいるでしょう。ただ一方で、試合は大切だけど、武道の一部に過ぎず、礼儀や鍛錬など広い領域があります。稽古の中で試合はできます。競技会は不可欠ではないと思います。トーナメント戦では、参加者の半数が1回戦負であることを競技成功者は忘れがちです。パラリンピックへの参加も課題になるかもしれませんが、パラリンピック種目である武道は視覚障害者柔道だけです。その競技者は日本国内でも百数十人程度です。パラリンピック種目化は障がい者の機会創出として素晴らしいことですが、一定の障害に限って種目を作るという意味では、一部を選択する営みとも言えます。

<障がい者に相撲はいいのか？>

四股による健康づくりなど、一定の科学的説明が可能なものあるでしょう。私も障害者武道を普及するのに障害者とその家族から科学的根拠を求められ、科学的実験に基づいて武道の稽古が脳卒中患者に有効であるという根拠を得て、論文を書きました。しかし、武道稽古の動きは、理学療法士によるハビリテーション・リハビリテーションと動きが似ています。では武道稽古の何が脳卒中患者に効果的だったのか。私の論文は、この点について何ら語っていません。

ここからは私の仮説に過ぎませんが、取り組むマインドセットが異なっていると思います（残念ながら現在の科学技術では検証できませんが）。リハビリでは障害を常に意識しますが、武道の稽古では、技を習得したり、級位段位を上げたりすることを目指す。できないことを地道に繰り返し稽古することで習得するのは、障がい者も健常者も一緒です。

<相撲の可能性>

中学武道必修化をうけて全国で武道授業が実施されていますが、指導内容の充実はなか

なか難しいようです。柔道・剣道・相撲と他の武道を組み合わせで実施することも行われるようになるでしょう。相撲は他の武道との相性もいい。基礎トレーニングとして、補完として、また指導のし易さで優位にあると思います。